

2017（平成29）年9月10日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議
（第10期・第5回）の議事録は次のとおり。

事務局説明

- ・トニー・ジャスティス委員長が進行を行い、サリアビシエック副委員長、柳
晴実副委員長が進行補助を行った。

1 部会別協議

次の部会に分かれて協議を行った。

- (1) 全体の広報、情報提供について
外国籍県民へ必要としている情報がより届きやすくする方法について、
広報も含めて検証・提言する。
- (2) 子育て・教育について
外国人の母親同士が出会う場を作るなどの支援や、教育に関するこ
とを検証・提言する。
- (3) 就労について
外国人の労働問題や自立支援などについて検証・提言する。

2 全体の意見交換

部会ごとに協議した内容について報告した。

- (1) 全体の広報、情報提供について
メンバー：岩松寿委員、河本ファビオ良則委員、サリアビシエック
委員、バックマンジェイサンマシュー委員、ホサニアハマド
委員、楊芳委員（6名）
部会長：バックマンジェイサンマシュー委員
副部会長：楊芳委員
記録係：未定

【主な協議内容】

- ・今までの提言のうち、広報・情報提供に関する提言について、担当の割り振りを行った。現在の状況を次回の部会までに各自調べてくることとした。
- ・広報、情報提供について何が出来るかを協議し、facebookで外国籍県民かながわ会議のページを作成するのはどうかという意見が出た。

(2) 子育て・教育について

メンバー：佐々木聖壘委員、趙永鳳委員、仲田シリワン委員、ファムルーアンジー委員、藤井文委員、宮沢愛子委員、柳晴実委員（7名）

部会長：ファムルーアンジー委員

副委員長：未定

記録係：柳晴実委員

【主な協議内容】

- ・日本語学習や国際交流を目的とした子育て広場やママたちの集まりはあるが、外国人ママ同士がつながることを目的とした会は少ないように感じる。過去の提言においても、その点についての提言はないようなので、各地域の現状を調べて統計を取り、提言につなげられるかどうか検証する。
- ・公立学校内での外国人の子どもたちの初期指導やケア、学校内での多文化教育にかかわる提案について、次回の部会で話し合うこととした。

(3) 就労について

メンバー：倉橋ジェラルデン委員、宋清委員、飛龍涼也委員、李由紀委員（4名）

部会長：宋清委員

副部会長：倉橋委員

記録係：未定

【主な協議内容】

- ・就労に関する外国人向け情報発信について、カンボジア語、ベトナム語などの話者が少ない言語にも対応してほしい。

- 外国人の雇用環境整備について、一部措置されている部分もあると思
うが、不十分なところがないか検証したい。
- 多言語問診票のような、就職や面接での確認事項を提供することは
可能か検証したい。

(4) その他

全体の取りまとめ：トニー・ジャスティス委員長

3 今後の会議日程について

次回会議日程は、10月～11月頃を予定している。(資料2のとおり)
日程調整の連絡は、原則メールで行う。メールの発信内容については、
事務局が作成し、情報発信担当の岩松委員へ送付する。

4 その他

- 第1期から第9期の提言について、最新の措置状況を確認するために、
県国際課で措置状況調査を行う予定。
- facebookのページ作成については、今後委員で協議した上で、検討してい
く。

(以上)